

# 教育課程の基礎・基本 ①

— 学習指導要領の基本構成と  
その読み解き方（総合的な学習の時間）—

# 復習： 算数の「自由交流活動」 次の3枚の写真を順番通りに並べると？



# 1. 「平成20年版学習指導要領」の 基本事項

➤ 平成20年代に取り組みたい教育課題(中教審H20117答申)

…すべての教科における**共通の原則**

・言語活動の充実

…思考・判断・表現の力、かかわり合い・伝え合い

・理数教育の充実

・伝統や文化に関する教育の充実

…地域の伝統、地域の人・もの・こと、地域の特質

・道徳教育の充実

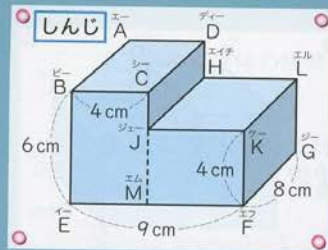
・体験活動の充実

…実感のある学びを通して、主体的な学びをつくる

・教科横断的な改善事項

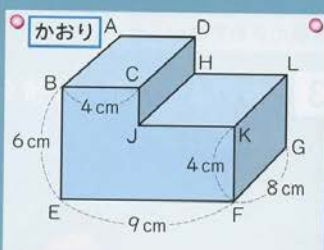
…食育・健康、情報、キャリア、命・安全、ESD etc.

みほさんたちは、友だちの考えを説明しています。



しんじさんの考えは、JとMを結ぶ直線で……と思います。

みほ



$$8 \times 9 \times 6 - 8 \times 5 \times 2 = 432 - 80 = 352$$

答え 352 cm<sup>3</sup>

ひろき

2 しんじさんの図を見て、しんじさんの考えを式に書きましょう。

3 かおりさんの式を見て、かおりさんの考えを図やことばで説明しましょう。

上の図に線や長さをかいてみよう。

4 次のページのたくみさんの式を見て、たくみさんの考えを図やことばで説明しましょう。

次のページの図に、線や長さをかいてみよう。

5 3人の考えて、共通していることはどんなことでしょうか。

みんな形を直方体にして…。

みほ

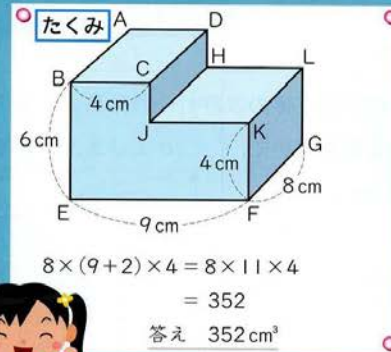
友だちの考えを知ろう。

友だちの考えていることがわかるかな。

自分の考えと同じところやちがうところはどこかな。

みんなで話し合ってみよう。

友だちの考えのいいところを見つけよう。



$$8 \times (9 + 2) \times 4 = 8 \times 11 \times 4 = 352$$

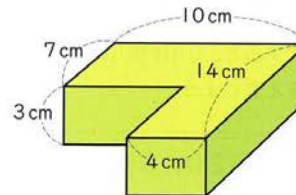
答え 352 cm<sup>3</sup>

ゆみ

のような形の体積も、直方体や立方体の形をもとにして考えれば求めることができます。

今まで習ったことを使って考えればいいんだね。

4 下のような形の体積を、いろいろな方法で求めましょう。



ほしゅうのもんだい 118ページ

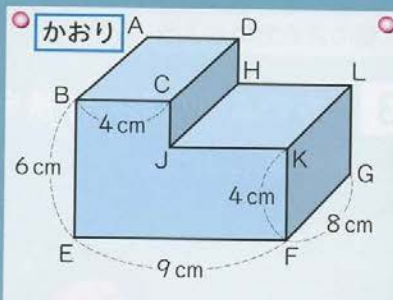
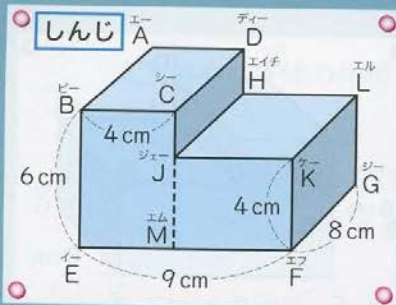
まとめよう。

今日の学習でどんなことがわかったかな。

確認めよう。

学習したことを使って別の問題に取り組んでみよう。

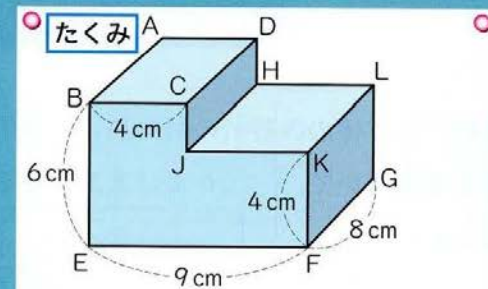
みほさんたちは、友だちの考えを説明しています。



$$8 \times 9 \times 6 - 8 \times 5 \times 2 = 432 - 80 = 352$$

答え 352 cm<sup>3</sup>

しんじさんの考えは、JとMを結ぶ直線で……と思います。



$$8 \times (9 + 2) \times 4 = 8 \times 11 \times 4 = 352$$

答え 352 cm<sup>3</sup>



藤井齊亮他 (2010) 『新しい算数 5年上』 東京書籍

## <改訂の基本方針>

「**数学的な思考力・表現力を高めること**や  
 学んで身に付けた算数を生活や学習に  
 活用することを重視」

# 学習指導要領・算数科

「B 量と測定」(第5学年)

(2)体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算によって求めることができるようにする。

ア) 体積の単位(立方センチメートル( $\text{cm}^3$ ), 立方メートル( $\text{m}^3$ ))  
について知ること。

イ) 立方体及び直方体の体積の求め方を考えること。

<算数的活動>

イ …面積の求め方を, 具体物を用いたり, **言葉, 数, 式, 図**を用いたりして考え, **説明する活動**



「言語活動の充実」

## 2. 総合的な学習の時間の「目標」を 例に学習指導要領の読み方を学ぶ

# (1) 学習指導要領の「第1 目標」 (教科目標)を理解する

- ① 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、
- ② 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、
- ③ 学び方やものの考え方を身に付け、
- ④ 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、
- ⑤ 自己の生き方を考えることができるようにする。



# 探究的な学習とは？

## ◎探究的な学習

・・・子どもが自ら立てた「正答が一つに定まらない課題や問い」に対し、**問題解決の活動を発展させながら、くり返していく学習**

## \* 教師の役割

- ・児童生徒の**探究的な学習が成立するように「支援・指導」**を行う。
- ・たとえば・・・具体的な調査対象や資料の所在を提示する。課題のアイデアや探究の方法、整理の仕方を示す。 など

# 横断的・総合的な学習とは？

## ◎横断的学習

・・・学習内容や学習課題を、教科や領域を横断して編成する

## ◎総合的な学習

・・・学習内容や学習課題を、児童・生徒の「興味・関心」「思いや願い」に基づいて編成する

# 協同的に取り組む態度とは？

## ◎協同的に取り組む態度

・・・他者と意見を交わし、相手の考えを受け入れながらよりよい問題の解決に取り組む態度。

### \* 教師の役割

子どもへの働きかけにより子ども同士の共通の関心をつなげたり、協力して取り組むことを働きかけたりする。「なるほどねえ。同じ考えをしているという人いますか？」

# 主体的、創造的とは？

## ◎主体的な態度

教師など他者から促されて取り組むのではなく、「分かりたい！」「なぜだろう？」など、**自らの関心や興味を足場にして**探究的な学習に取り組む態度

## ◎創造的な態度

友人の活動や教師の示した解決方法を無目的に模倣するのではなく、「ぼくはこれが大切だと思う」「わたしは、この方法が一番良いと思うな」など、**自分自身で考えをまとめたり、新しい考えを生みだしながら**学習を進める態度

# 自己の生き方を考えるとは？

## ◎ 自己の生き方を考える

(高等学校では、「自己の在り方生き方」を考える)

- ① 一個人として自分ができること、すべきことを考える(人生観)
- ② 学ぶことの意味や価値を考え、成長することの有用性を感じる(学習・成長観)
- ③ 職業や将来の具体的なあり方を考える(職業観・勤労観)

## (2) 各校が自校の「目標」を定める

◎目 標・・・第1の目標を踏まえて、学校として総合学習で育てたい目標を示す。

○留意点 「第1の目標」の5つの項目

○例えば・・・、

- 身近な地域の自然や社会とかかわり、課題を見付け、仲間と協力して、主体的・創造的・協同的に課題を解決し、新たな課題に向かって探究する力を育てる。
- 地域の様々な人とかかわりを通して、地域に対する親しみと愛着を高め、自分の生き方を考えることができる。

# (3) 自校の「育てようとする資質や能力及び態度」を定める

○資質・能力・態度・・・学校として育てたい具体的技能・能力  
OECDの「**キー・コンピテンシー**」と関連

- ① 学習方法に関すること・・・「課題を発見し設定する力」「情報を集め、整理する力」「相手や目的に応じて考えをまとめ表現する力」
- ② 自分自身に関すること・・・「自分の行動について意思決定する」「自分の良さに気づき伸ばそうとする」「将来を見すえ、夢や希望を持つ」
- ③ 他者や社会のとのかかわりに関すること・・・「他者の意見に耳を傾け、考えを取り入れる」「学んだことを生かして社会に関わろうとする」

## (4) 自校の「内容」を定める

### ○内 容

・・・領域等に応じて、取り組ませたい「学習課題」を示したもの

- ① **横断的・総合的な課題**・・・「自然環境」「地域社会」「共生」「命・安全」「自己・成長」など
- ② **児童の興味関心に基づく課題**・・・将来への関心、挑戦・体験したいこと、究明したいことなど
- ③ **地域や学校の特色に応じた課題**・・・地域の暮らし、伝統、文化、生活習慣、産業、経済など

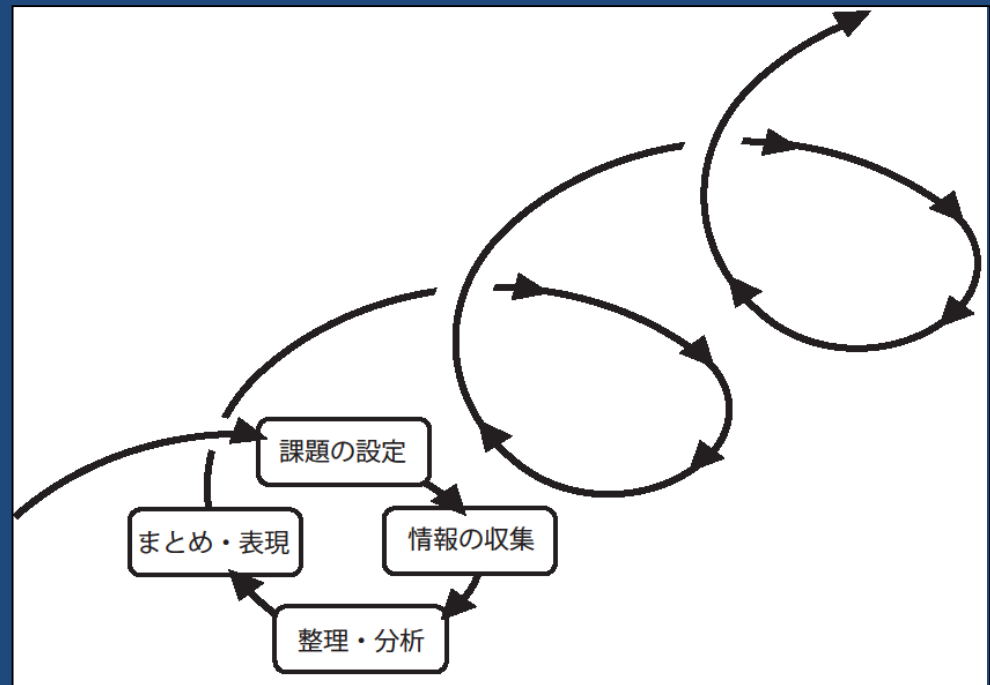


# (5) 単元づくりにどのように生かすか？

## ◎探究のプロセスを生かす

- ①課題設定(課題意識・関心)
  - ②情報の取り出し・収集(技能)
  - ③情報の整理・分析(思考)
  - ④まとめ・表現
- 新たな課題の設定

- ・一つの単元の中で、一時間の授業の中で、一人の子どもの中で、これらの段階が「行きつ戻りつ」しながら展開する。＝直線的に一定方向に進ませるわけではない



## ◎内容の視点を生かす

- ①**学年の主題**(環境、福祉、地域など)を中心に  
する場合 例:5年 環境 6年 国際理解
- ②**ある活動を中心に**、複数の内容領域を組み合わせる場合 例:米作り=>環境・地域・健康・
- ③**全体計画の「内容」**を単元計画の「単元目標」  
に仕上げる ……全体計画を活かす

# ③全体計画の「内容」を生かして単元の目標を作る

|    | 学習対象                       | 学習事項（3年・4年）   | 学習事項（5年・6年）  |
|----|----------------------------|---|--|
| 環境 | 身近な自然環境のすばらしさや環境問題に関心を持つ人々 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に親しみ、自然の中で活動し、<u>自然の大切さに気がつく。</u></li> <li>いいむす精神を学び、実践する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><u>地域の自然の良さや課題を見だし、環境保全への取り組みや関わりを考え、実践する。</u></li> <li>いいむす精神をみんなに広めようという態度を育てる。</li> </ul>                |
| 生物 | 生命の神秘・貴重さを感じ、守ろうとしている人々    | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物とふれあったり、飼育・栽培する中で、生命の不思議さや素晴らしさ・大切さに気づく。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の存在意義や価値を発見したり、多様な生命の継続に関心を持ったりして、飼育・栽培や保護に取り組む。</li> <li>自ら生命を尊重しようとする態度を育てる。</li> </ul>                 |
| 福祉 | 地域の高齢者、障害者と暮らしを支援する人々      | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な高齢者や障害者について理解し、<u>一人ひとりの大切さに気がつき、接し方を考え、実践する。</u></li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li><u>身近な高齢者や障害者の暮らしを支援する仕組みや携わる人々について理解し、自分の出来ることを実践する。</u></li> <li><u>相手の思いを考えて行動できる気持ちを高める。</u></li> </ul> |
| 自己 | 身近な地域や自己の将来とのかかわりのある人々     | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人々の仕事を知り、自分たちの生活や地域を支えていることに気がつく。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人と共に活動することを通して、労働の意義を体験的に考える。</li> <li>自己の長所を見つけ、それを活かそうとする意識を持つ。</li> </ul>                             |
| 郷土 | 地域の伝統や文化、継承や発展に取り組む人々      | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域を支えている人々の活動を見聞きしたり参加したりして、地域の人々の思いや願いを知る。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域伝統や文化の持つ特徴を知り、地域の一員として守り、受け継ぐためのあり方を考える。</li> <li>先人の知恵や伝統の意味に気づき、それを大切にしようとする。</li> </ul>                |

**【小学3年・環境】** 夏山川にくり返し関わる活動を通して、そこに住む生きものや川の周辺にくらす人々の様子に向け、夏山川の与えてくれる自然が恵みについて考え、自分なりの思いをもつ。

## (6) 中学校・高校での「単元づくり」は、 どうしたらうまくいくのか？

◎**教師の専門性**を生かす(**講座制**・・・一つの学年に複数の副主題を設定する)

①中学・高校においては、小学校において多く見られる「問題設定・課題解決型」の年間指導計画は必ずしも多くない。

②しかし、資料①の例のように、「いのち」(学年主題)を主題にしながら「**追究カテゴリー**」(**副主題**)に示されたような講座制の取り組みをしている学校も多い。

③大切な事は、一時間ことの細分化された年間指導計画ではなく、「月別」や「活動のまとめ」ごとに小単元を設定し、生徒が自分自身の課題を自己で立てた見通しと計画に沿って探究できるような「単元」の展開により年間指導計画を設定したい。

(「生徒は、そこまではできない」と考えず、「その力を持たせないで卒業させて良いのか」と問う)

## 資料① 単元構想と評価規準

| 段階   | 月  | 学習活動  | 学習内容   | 時間           | 主な評価観点     | 評価規準B   | 評価方法   |
|------|----|---|--|--------------|------------|---|--|
| 気づく  | 5  | ○「命」に対する関心づけ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容の把握</li> <li>「命」のビデオ視聴</li> <li>生命誕生の講話</li> </ul>                                | 1<br>5<br>5  | 学習への主体的な態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「命」のビデオを視聴することから命についての関心を高めようとしている。</li> <li>命の誕生の様子を知り、両親への感謝の意識をもつことができる。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> </ul> |
|      | 6  | ○追究カテゴリー分け<br>「生命誕生」<br>「救急救命」<br>「難病」<br>「医療・福祉」<br>「赤十字」<br>「骨髄移植」<br>「臓器移植」<br>「戦争と平和」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>命にかかわる機関の追究</li> <li>命のとらえアンケート</li> </ul>  | 5            | 学習への主体的な態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がこれから追究してみたい命にかかわる事項を挙げ、関心を高めようとしている。</li> </ul>   | プリント   |
| 手立て② | 7  | ○カテゴリーにおける追究テーマ設定   | <ul style="list-style-type: none"> <li>カテゴリー内での話し合い活動</li> <li>個人追究活動計画</li> </ul>   | 3<br>2       | 課題追究力      | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を通して自分の調べたい内容を決定することができる</li> <li>調べてみたいことを追究する計画を具体的に立てることができる</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> <li>プリント</li> </ul>               |
|      | 9  | ○個人追究活動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>書籍やインターネットを活用した追究活動</li> <li>校外追究活動</li> <li>アンケート調査活動</li> <li>電話での聞き取り活動</li> </ul> | 4<br>5       | 課題追究力      | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が調べたいことについて、書籍・ウェブ・聞き取り調査などの方法を用いて追究活動を行うことができる。</li> <li>調査先の方から自分の追究課題に迫る内容を聞き取ることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> </ul> |
| 深め   | 10 | ○個人追究まとめ活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>追究まとめ発表活動</li> </ul>  | 4            | 表現力        | <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを、図や表を用いて他者に分かりやすく表現することができる。</li> </ul>  | 色画用紙   |
|      |    | ○カテゴリー別話し合い活動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>磨き合い活動(話し合い活動)</li> </ul>   | 2<br>本時(1/2) | 批評力        | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を聞く中で自分の考えを深めることができる。</li> <li>自分が調べてきたことを根拠に相手に分かり</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>プリント</li> <li>行動観察</li> </ul>               |

5月  
単元の立ち上げとともに学年主題に対する関心を掘り起こす

6月～7月  
「追究カテゴリー」のグループごとに課題意識を掘り下げる

9月～11月  
副主題に沿って個人の追究課題を設定し、個人追究と相互批正を取り入れ、課題を追究する

# 探究的な学習における言語活動

①課題の設定：  
実感を伴った体験活動などを通して、課題を設定し、課題意識を持つ

②情報の収集：  
課題に合わせて内容を吟味しながら情報を取り出したり、収集したりする

③整理・分析：  
収集した情報を、思考を働かせながら、整理したり分析して、特徴などを取り出す

④まとめ・表現：  
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、選択し、相手意識を持って表現する

